

# 道徳教育の充実を基盤とした学力向上の推進

～倫理意識と学力の有意な相関(県学習状況調査の結果より)を背景として～

【白岡市教育委員会】

- 1 学年・教科 ・全学年・全教科
- 2 ね ら い ・道徳教育の校長方針に基づく実践を確実にいき、道徳性を養い学力の向上を目指す。  
・家庭との連携を深め、指導の効果を高める。

## 3 取組の内容

(1)道徳の時間を要として、全教育活動において道徳教育を行う。

- ・年度当初に校長が全学級の授業(道徳・国語・算数のいずれか)を参観し、授業分析をもとに指導し資質を高める。
- ・全学級が道徳的視点を入れた学習指導案を作成し研究授業を行う。
- ・学校行事は道徳的視点に基づいて実践し事前・事後指導を確実に行う。



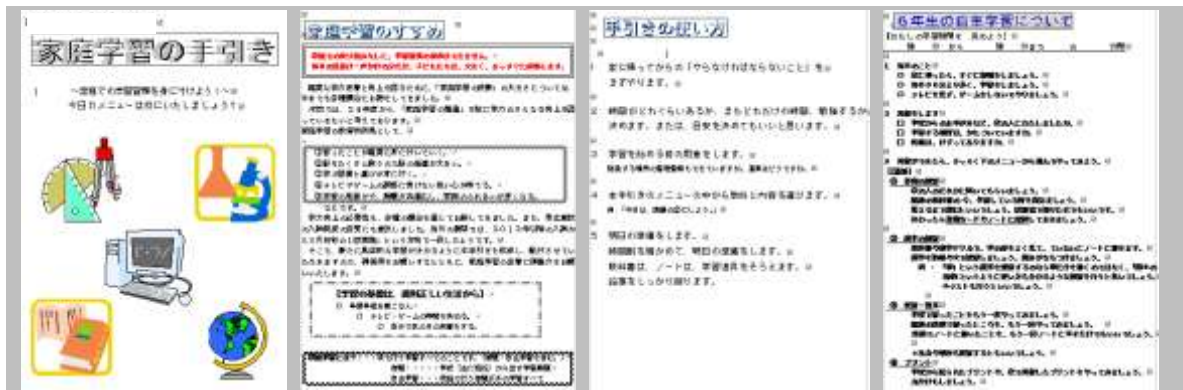
(2)郷土の文化や生活への関心を高め、郷土への愛着を深める。

- ・白岡市制施行という機会をとらえ、ふるさと意識の醸成を図る。
- ・ふるさとに関連する学習を重点単元として学習意欲を喚起し、確かな知識として定着させる。  
(3・4年社会)



(3)家庭への啓発により連携を深めて、効果的な取組とする。

- ・シラバス、学年だより、学級の週予定の配布により学習計画をていねいに知らせる。
- ・毎日の家庭学習により学習習慣を身につけさせる。(「家庭学習の手引き」を配布)



- ・埼玉県学習状況調査の結果をもとに倫理観と学力の明らかな相関を示し、規律ある生活習慣の定着に協力してもらおう。（「学力向上だより」の発行）

## 学力向上だより



この学力向上だよりは、平成24年4月に実施された5年生の埼玉県学習状況調査の結果をもとに考察したものです。ひと学年だけの実施ではありますが本校児童の実態ととらえ、現状及び学校教育と家庭教育の視点を共通理解するためにまとめました。  
お子さんの、家庭での生活や学習への働きかけに活用していただきますようお願いいたします。

### §1 本校児童の実態

国語		埼玉県		埼玉県を下回る	
内容別結果(正答率)					
内容		埼玉県			
A	話すこと・聞くこと	85.9		86.0	
B	書くこと	65.0		66.7	
C	読むこと	72.3	76.0	74.6	77.0
	文学的文章		68.6		72.2
「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」	漢字(読み)	83.6	92.6	83.3	94.0
	漢字(書き)		94.9		92.9
	語句		75.4		75.2

### 社会

内容別結果(正答率)		埼玉県	
内容		埼玉県	
	身近な地域や市町村	74.9	69.6
	地域の人々の生産や販売	84.4	83.9
	飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理	70.7	67.5
	災害及び事故から人々の安全を守る工夫	90.0	85.7
	地域の人々の生活	78.7	87.3
	埼玉県の様子	67.0	62.4

### 算数

内容別結果(正答率)		埼玉県	
内容		埼玉県	
A	数と計算	78.1	81.0
B	量と測定	65.1	67.5
C	図形	57.6	62.4
D	数量関係	63.7	68.9

### 理科

内容別結果(正答率)		埼玉県	
内容		埼玉県	
A	物質・エネルギー	67.5	68.4
B	生命・地球	61.9	66.0

○理数系に強く、埼玉県と比較して優位にあり、確かな学力が身につけているといえます。  
●国語の言語事項(語句や漢字の習得)や社会(埼玉県の様子など全般)に課題があります。

### §2 学校と保護者の教育方針

学校教育目標	保護者の願い(アンケートの上位)
○進んで表現できる子	○他人に迷惑をかけない【倫理】
○心豊かに生きる子	○経済的に安定した生活【学力・体力の成果】
○たくましく元気な子	

学力向上はもちろん、高い倫理観をもつ豊かな心を備えた人になってほしいという願いも共通しています。

### §3 倫理観と学力との相関

学習状況調査では、学習達成度とともに意識アンケートを行っていますので、倫理観や自己向上意識と学習達成度との相関を調べることができます。特に課題となっている学習項目について倫理意識との相関を以下に示します。

①【縦軸】国語「伝統的な言語文化と国語の特質」の評価(A~D)

【横軸】「人の気持ちが分かる人間になりたい」



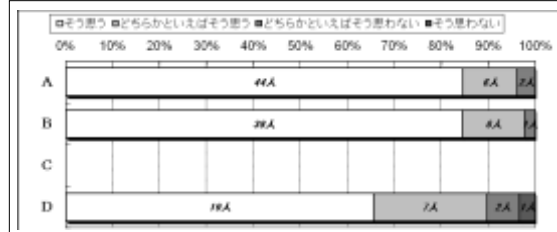
②【縦軸】社会「飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理」の評価(A~D)

【横軸】「人の気持ちが分かる人間になりたい」



③【縦軸】社会「埼玉県の様子」の評価(A~D)

【横軸】「人の気持ちが分かる人間になりたい」



ほんの3例ですが倫理観と学習達成度との関連は明らかです。やはり、学力の高いグループは倫理意識をしっかりとつと児童の割合が高くなっています。他に「学校のきまりを守っている」「友だちとの約束を守っている」など倫理観を示す項目も同様に学習習熟度と有意に関係しているという結果でした。

§4 倫理観の醸成と学力の向上に向けての学校の取組

- ・道徳的視点をとらえて授業づくりをしています。
- ・縦割り活動やふれあい芸術鑑賞などすべての学校行事においても道徳的視点をもとに指導しています。
- ・「心豊かに伝え合うことができる児童の育成」について国語科を中心に研究しています。
- ・家庭教育との連携を図るため、シラバス、家庭学習の手引き、南小 PTA 家庭教育宣言、各種便り等を配付し、情報提供しています。

§5 家庭教育推進のお願い

倫理観を醸成する基盤は家庭教育にあります。保護者の皆さまの願いである「他人に迷惑をかけない人になる」ためには、小学生の時期に生活の規律をしっかりと身につけさせなければなりません。家庭学習の習慣化とともにしつけの一環として見届けていただきますようお願いいたします。

【参考】【縦】国語「関心・意欲・態度」の評価【横】「学校に持っているものを前日かその日の朝に確かめますか」

